



# 国立市教育大綱

— 自分もみんなも幸せな社会を目指す教育の実現 —

令和8年2月20日改定  
国立市長 濱崎 真也

## 「自分も、みんなも、いっしょに幸せになろう」

これから国立市の教育を進めていくにあたり、一番大切にしたいことがあります。それは、「自分が幸せ」であるだけでなく、「まわりのみんな」も幸せになれる社会をつくっていくことです。

そのために、国立市では、次の3つのことを大切にします。

### 1

「好き」や「知りたい」を育み、一生の力に。

- 学びはより良い人生を築く助けになります。「なぜ？」と不思議に思う気持ちや、何かに夢中になる力、好きなことは、人生を豊かにする宝物です。
- 人生を豊かにする知識やスキルを学校でじっくり学ぶことに加えて、変化していく社会の中で、新たに学ぶべきことを考え、新しいことに挑戦し、「好き」を深めていく。そんな学びを、子どもから大人まで、応援し続けます。

### 2

「ちがい」を掛け合わせて、共につくる、共に生きる。

- 私たちは一人ひとり、考え方も得意なことも、育った環境も多様です。一人ひとりの「ちがい」から生まれる多様な力を掛け合わせてより良い社会をつくっていくため、対話する力、協力する力が育まれる環境をつくります。
- 互いの違いを認め合い、助け合うことは、対話や協力の土台になります。国立市は、誰もが「ここにいていいんだ」と心から安心して過ごせる場所を、みんなで作っていきます。

### 3

学校・家庭・地域の絆で、すべての子どもの学び・育ちを支え合う。

- 教育は、学校・家庭・地域などが信頼で結ばれ、子どもたちを育む営みです。最新のICT（デジタル）も活用しながら、一人ひとりに最適な学びを届けます。そして、教える人も支える人も、誰もが心にゆとりを持って、前向きに子どもたちを支え合う環境を整えます。

この3つの大切なことについて、具体的に次ページの「3つの力」を育むこと、「8つの取組の方針」を進めることを中心に実現していきます。



## 「3つの力」

— 国立市が重視して育んでいきたいもの —

- 個性やよさを発揮し、主体的に学ぶ力
- 他者を尊重し、共感・協働しながら共に学び合う力
- 身近な世界を探求し、広い世界へと目を向ける力

## 「8つの取組の方針」

— 学びと成長を支えるために国立市が特に大切にすること —

- |      |  |
|------|--|
| 1 安心 | すべての子どもが差別やいじめ、ハラスメントを受けることなく、安心して自分らしく成長できる環境を整えます。                         |
| 2 共創 | 学校生活や学びに関わることなどについて、子どもに意見を聞きながら、大人と子どもが共に学びの場を創り上げていく取組を進めます。               |
| 3 公正 | 一人ひとりの特性や、生まれ育った環境に左右されることなく、成長に必要な力を最大限育むことができる支援を充実させていきます。                |
| 4 深学 | ICTを豊かな学びに活用できる環境の充実を目指すとともに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を進めます。                     |
| 5 包摂 | 子どもの特性や強みに光を当て、一人ひとりがその子らしく共に学ぶことができる包摂力の高い学校・学級づくりを進めます。                    |
| 6 共育 | 学校・家庭・地域などが互いに信頼し、協力してすべての子どもの育ちを支えていく取組を進めます。                               |
| 7 挑戦 | 時間と心のゆとりを確保し、教職員が前向きに挑戦できる環境を整えていきます。  |
| 8 生涯 | 誰もが生涯にわたって、学習・文化・芸術・スポーツ等に親しむとともに、学んだことを様々な場面で活かしたり、表現したりすることができる環境を整えていきます。 |